

19 就学状況別にみた子どもの状況（20歳未満の児童）

就学状況別にみた子どもの状況をみると、母子世帯では、「小学生」のいる世帯が440,800世帯で最も多く、前回調査に比べて、その割合が増加している。

該当する子どもの数でみると、その総数は約192万人となっている。

また、父子世帯でも「小学生」のいる世帯が最も多く、次いで「中学生」、「高校生」のいる世帯がそれぞれ約2割となっており、該当する子どもの数でみると、その総数は約27万人となっている。

表19-1 母子世帯の就学状況別にみた子どもの状況（20歳未満の児童）

区 分	調査年	総 数	小学校 入学前	小学校	中学校	高 校	高等専門 学 校	短 大	大 学
該当する子ども の数	平成10年	千人 1,519.7 (100.0)	(14.6)	(26.5)	(16.9)	(18.7)	(0.9)	(1.2)	(2.6)
	平成15年	千人 1,919.1 (100.0)	371.1 (19.3)	641.8 (33.4)	379.9 (19.8)	329.7 (17.2)	7.1 (0.4)	7.1 (0.4)	20.3 (1.1)

専修学校 各種学校	就労し ている	その他	その他の 世帯員
(2.1)	(12.9)	(3.6)	
22.9 (1.2)	63.5 (3.3)	75.8 (4.0)	959.1

表19-2 父子世帯の就学状況別にみた子どもの状況（20歳未満の児童）

区 分	調査年	総 数	小学校 入学前	小学校	中学校	高 校	高等専門 学 校	短 大	大 学
該当する子ども の数	平成10年	千人 256.2 (100.0)	(6.0)	(23.7)	(22.4)	(22.4)	(1.1)	(0.5)	(2.3)
	平成15年	千人 267.4 (100.0)	36.3 (13.6)	86.8 (33.2)	51.6 (19.3)	57.3 (21.4)	1.9 (0.7)	1.0 (0.4)	6.7 (2.5)

専修学校 各種学校	就労し ている	その他	その他の 世帯員
(3.1)	(13.8)	(4.7)	
5.7 (2.1)	11.5 (4.3)	6.7 (2.5)	243.5

(注) その他の世帯員は、同居している20歳以上の子ども、その他の親族等の数。